

重要取組シート

建築都市局 開発調整部

取組項目		活力あふれる都市 ① (良好な宅地、建築物のストック形成)	
現状・課題		<p>○良好な都市基盤や空間形成を図るために、良質な宅地や建築物の安全なストック形成が求められている。</p> <p>○開発行為等への指導は、良好な市街地形成と安全な宅地供給に寄与する一方で、規制と誘導施策のバランスを保つことが求められている。</p> <p>○建築行政は規制から誘導へと変わってきており、建築の自由度を高めることにより都市の機能更新を促進するため、建築基準法に規定する許認可制度の活用を図る必要がある。</p>	
取組の内容		<p>○良質で安全なストックの形成と、市の重点施策を推進する一つの手法として、都市計画法や建築基準法等に係る許認可制度等を運用する。</p> <p>○地区計画が定められた地区において、建築基準法に基づく条例を制定し、その実効性を担保するため、用途や壁面線の位置の制限、用途の緩和など、各地区の実情に応じた建築制限・緩和の仕組みを設けることにより、良好な市街地環境の形成と土地の有効利用の両立を図る。</p>	
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 堺市南部大阪都市計画新金岡町2丁地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定(～9月)	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 地区計画等の計画に応じた建築基準法による許認可制度の運用	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 地区計画等の計画に応じた建築基準法による許認可制度の運用	
進捗の状況	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/>	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/>	
堺市基本計画 2030	該当する 施策	—	
	寄与する KPI	—	目標値(2030年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI	—	目標値(2030年度) —

重要取組シート

建築都市局 都市整備部

取組項目		活力あふれる都市 ② (堺都心部 (堺東エリア、堺駅・堺旧港エリア、環濠エリア) の活性化)
現状・課題		<p>○多様な人が集い交流する魅力的な都心エリアの形成に向け、市民や事業者等と連携し取組を進めている。</p> <p>○2031年のなにわ筋線開業や2040年度の南海高野線連続立体交差化など大きな成長が見込まれる機会を捉え、堺駅周辺や堺東駅周辺において都市機能の更新・集積を図ることが必要である。</p> <p>○環濠の水辺空間等や堺旧港の海辺空間の地域資源を更に活かすことで魅力ある環境や賑わいを創出することが求められる。</p>
取組の内容		<p>○堺東駅・堺駅周辺を中心に商業・業務・居住等の都市機能の集積や地域資源の活用により訪れる・働く・住む人など多様な人が安全・快適に過ごせる空間を形成する。 (堺東エリア)</p> <p>瓦町公園周辺ゾーンの市街地整備に向け、地元地権者により構成される市街地再開準備組合の取組を支援する。また、南海高野線連続立体交差事業の関係部署・事業者等と連携し、堺東駅街区ゾーンの整備に関する方向性を取りまとめる。 (堺駅・堺旧港エリア)</p> <p>堺駅周辺では、拠点性強化に向けて、周辺用地を活用した商業・宿泊・図書館機能等の都市機能導入に関する検討を行う。</p> <p>堺旧港では、海辺の特性を活かした魅力あるエリア形成に向けて「乙姫の休日。」の実施、親水護岸等を活用した海辺の交流空間創出、海上交通の実現に向けた取組など、万博のレガシーを活かしながら取り組む。 (環濠エリア)</p> <p>豊かな歴史文化資源や人材・組織、公共空間を活かし、公民連携のもと、魅力向上及び活性化に向け、元堺消防署用地の活用や、大道筋歩道空間の利活用に取り組む。</p>
スケジュール	前期 (～9月)	<p>□堺東：瓦町公園周辺ゾーンの市街地再開準備組合の取組支援、堺東駅街区ゾーンの整備の方向性検討 (通年)</p> <p>□堺駅・堺旧港：堺駅周辺での都市機能導入に関する検討 (通年)、堺旧港親水護岸等の交流空間創出に向けた民間事業者による施設整備の開始 (～9月)、海上交通の実現に向けた関係機関等との調整 (通年)</p> <p>□環濠：元堺消防署用地活用に係る公募手続き (通年)、元堺消防署用地の暫定利用 (通年)、大道筋歩道空間の利活用に係る勉強会等の開催や関係機関等との調整 (通年)</p>
	後期 (～3月)	<p>□堺東：瓦町公園周辺ゾーンの市街地再開準備組合の取組支援、堺東駅街区ゾーンの整備の方向性とりまとめ (～3月)</p> <p>□堺駅・堺旧港：堺駅周辺での都市機能導入に関する検討 (通年)、堺旧港親水護岸等の交流空間創出に向けた民間事業者による施設整備の完了 (～3月)、「乙姫の休日。」開催 (10月頃)、海上交通の実現に向けた関係機関等との調整 (通年)</p>

(様式 4)

		□環濠：元堺消防署用地活用に係る公募手続き（通年）、元堺消防署用地の暫定利用（通年）、大道筋歩道空間の活用に係るワークショップ等の開催や関係機関等との調整（通年）	
	次年度以降	□堺東：瓦町公園周辺ゾーンにおける市街地再開発事業に係る都市計画決定 □堺駅・堺旧港：堺駅周辺の拠点形成に向けた基本的な考え方（案）の作成。堺旧港におけるイベント、海上交通など協議会等による取組を展開。交流空間創出事業の効果を検証しイベントの拡大実施。 □環濠：元堺消防署用地の民間活用、公民連携での公共空間利活用の推進	
	進捗の状況	前期（～9月）	
		後期（～3月）	
2030 堺市基本計画	該当する施策	4-（2）多様な人が集い交流する魅力的な都心エリアの形成	
	寄与するKPI	都心エリアの歩行者通行量 （※大小路筋・大道筋をはじめ賑わい創出空間となる主要道路の歩行者通行量の合計） [現状値：64,500人/日（2025年度）]	目標値（2030年度） 68,400人/日
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献するSDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与するKPI	—	目標値（2030年度） —

重要取組シート

建築都市局 都市整備部

取組項目		活力あふれる都市 ③ (中百舌鳥エリアの活性化)	
現状・課題		<p>○中百舌鳥エリアは、大阪メロ・南海電気鉄道等の交通結節点を中心に、堺市産業振興センター、さかい新事業創造センター（S-Cube）、堺商工会議所、大阪公立大学等が立地しており、上位計画において、中百舌鳥エリアを「イノベーション創出拠点」と位置づけている。</p> <p>○令和6年5月に「中百舌鳥駅周辺活性化基本方針」、令和6年12月に「中百舌鳥駅前北側広場再整備基本計画」を策定し、多様な交流・活動が生まれるひと中心のエリア形成の実現に向け取り組んでいる。</p> <p>○中百舌鳥エリアで進める産業支援の取組と相乗効果を発揮し、駅前北側広場の再編、NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム（NICCC）による産学官連携の推進、北部エリアの有効活用等、中百舌鳥エリアの活性化を図る。</p>	
取組の内容		<p>○駅前北側広場の再編に併せて整備する拠点施設への民間活力導入に向け、事業スキームの検討・事業者ヒアリング実施・関係機関協議を行う。</p> <p>○NICCC が作成した「ロードマップ」及び「北部エリアの土地活用の方向性」を踏まえ、中百舌鳥エリアの活性化に向けた大学との連携策の検討、北部エリアの土地活用に向けた事業スキームの検討、中百舌鳥の認知度向上に向けた情報発信等の活動を行う。</p>	
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 拠点施設整備の民間活力導入に向けた事業スキーム検討・事業者ヒアリング実施・関係機関協議（～9月） <input type="checkbox"/> 大阪公立大学との連携策の検討に向けたワークショップの開催（9月） <input type="checkbox"/> 北部エリアの土地活用に向けた活用方策事業スキーム検討（～9月） <input type="checkbox"/> NICCC の情報発信等の活動（通年）	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 拠点施設整備に向けた事業者ヒアリング実施・事業の方向性整理（～3月） <input type="checkbox"/> 大阪公立大学との連携策の検討（3月） <input type="checkbox"/> 北部エリア土地活用に向けた事業者ヒアリング実施及び活用の方向性整理（～3月） <input type="checkbox"/> NICCC の情報発信等の活動（通年）	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 中百舌鳥駅前北側広場活用等事業（駅前広場の再編・拠点整備事業）の推進 <input type="checkbox"/> 中百舌鳥エリアの活性化に向けたコンソーシアム活動の推進	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	4- (3) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	
	寄与する KPI	イノベーション創出につながる事業数 [現状値：101件（5年累計＜2020～2024年度＞）]	目標値（2030年度） 130件 ＜2026～2030年度累計＞

(様式 4)

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI	—	目標値 (2030 年度) —

重要取組シート

建築都市局 交通部

取組項目		活力あふれる都市 ④ (SMI 美原ラインの推進)	
現状・課題		<p>○堺都心部における便利・快適な移動環境の構築や拠点間ネットワークの構築を図るため、SMI プロジェクトに取り組む必要がある。</p> <p>○SMI 美原ラインについては、「SMI 美原ライン本格運行の考え方」を早期に策定し、本格運行に向けて取り組む必要がある。</p> <p>○本格運行後も利便性や利用環境の向上、利用促進等に取り組むことが必要である。</p>	
取組の内容		<p>○「SMI 美原ライン本格運行の考え方」について、市民意見募集を実施し、議会等に報告の上、早期に策定する。</p> <p>○SMI 美原ラインの本格運行に向け、利便性や利用環境の向上に関する検討を実施する。</p> <p>○単なる運行経費の赤字補填とならないよう赤字削減によるインセンティブ付与により、本市の負担額も抑制できるような負担の在り方を検討し、南海バス株式会社と協議・実施する。</p>	
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> SMI 美原ライン本格運行の考え方（案）市民意見募集（7月） <input type="checkbox"/> SMI 美原ライン等に係る関係機関との協議・調整（通年） <input type="checkbox"/> SMI 美原ラインの利便性や利用環境の向上に関する検討（通年）	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> SMI 美原ライン本格運行の考え方 策定（秋頃） <input type="checkbox"/> SMI 美原ライン等に係る関係機関との協議・調整（通年） <input type="checkbox"/> SMI 美原ラインの利便性や利用環境の向上に関する検討（通年） <input type="checkbox"/> SMI 美原ライン開通式の実施（1月） <input type="checkbox"/> SMI 美原ライン本格運行（1月～） <input type="checkbox"/> SMI 美原ラインの利用促進の取組（1月～）	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> SMI 美原ラインの利便性や利用環境の向上に関する検討、実施 <input type="checkbox"/> SMI 美原ラインの利用促進の取組	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	4- (2) 多様な人が集い交流する魅力的な都心エリアの形成	
	寄与する KPI	都心エリアの歩行者交通量※ [現状値：64,500人/日（2025年度）] ※大小路筋・大道筋をはじめ賑わい創出空間となる主要道路の歩行者通行量の合計	目標値（2030年度） 68,400人/日
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI	—	目標値（2030年度） —